

新潟港を利用した輸出状況について

北越コーポレーション株式会社
洋紙・白板紙事業本部 新潟工場
取締役工場長 大塚裕之

* 発表内容

1. はじめに
当社及び新潟工場の概要について
2. 新潟港を利用した輸出状況について
 - ①新潟港利用の経緯
 - ②新潟工場の輸出数量及び新潟港利用の推移
 - ③主な輸出先
3. 新潟港を利用するメリット
4. 自社（工場内）バンニングを活用した取り組み
5. 新潟港利用における課題と要望・提案
 - ①当社が抱える課題と改善のための要望
 - ②モーダルシフトを利用した港づくりの提案
6. 新潟港利用のまとめ
7. 当社の今後の取り組みについて
新事業：家庭紙事業への取り組み
環境活動：CO₂排出量ゼロに向けた取り組み



チップ船 SNOW CAMELLIA
(2018就航)

1.はじめに

①北越コーポレーションの企業概要

会社名	北越コーポレーション株式会社		
設立	1907年4月27日 新潟県長岡市で設立		
本社所在地	東京都中央区日本橋本石町3-2-2		
従業員数	連結4,545人, 単体1,606人		
主な事業概要	紙・パルプ製品の製造販売（洋紙・白板紙事業、機能材事業）		
連結売上高	2,646億円	営業利益	112億円（2020年3月期）
	2,225億円		17億円（2021年3月期）※コロナ禍
	2,600億円		180億円（2022年3月期）※予想
事業拠点	工場	新潟, 長岡, 紀州（三重）, 大阪, 関東（千葉・茨城）	
	研究所	長岡	
	海外拠点	中国, カナダ, フランス, アメリカ, ベトナム	

3

1.はじめに

①北越コーポレーションの企業概要

洋紙・白板紙事業



雑誌, 書籍, コピー用紙、
パンフレット, カタログ・チラシなど

お菓子の箱や医薬品の箱などの各種パッケージ
絵本の表紙・カタログ, ハガキなど



プラスチック代替材料
カップ原紙
紙カトラリー原紙
（紙スプーン, 紙マドラー）

4

1.はじめに

①北越コーポレーションの企業概要 機能材事業

・機能材



- ・情報先端技術関連：チップキャリアテープ原紙
- ・環境・衛生関連：エアフィルター濾材
- ・脱プラ・食品関係：耐油紙トレイ・圧着紙
- ・その他機能紙（情報用紙関係等）

・段ボール原紙（中芯）



5

1.はじめに

②新潟工場の概要 現在の新潟工場の様子



新潟工場

- ・敷地面積61.7万㎡
（東京ドーム13個分）
- ・抄紙機8台
- ・パルプ製造設備2系列
- ・回収ボイラー3基

* 年間の生産量：約100万t

立地状況

- ・新潟市の中央に位置。
JR新潟駅～約2km
新潟空港～約4km
- ・工場～東港チップヤード：約23km

2.新潟港の利用状況について

①新潟港利用の経緯

・ 2006年5月

新潟工場に2年後の2008年に最大級の塗工紙マシン

9号抄紙機(N9)の導入を発表。

国内販売だけではなく**輸出版売の拡大**を視野に入れる内容を発表。

・ 2006年7月

王子製紙よりTOBを受ける。防衛には新潟県、新潟市や地元企業からご支援を頂き、より一層の後押しがあった。

新潟港は輸入過多なので輸出を拡大する企業には追い風であった。

・ 2008年3月

新潟港(東港)リンコーコーポレーションがターミナル6号上屋竣工。

新潟港の施設強化に入る。

同年4月9日に富士運輸、日本通運が加わり輸出増強体制を構築。

・ 2008年9月

新潟工場9号抄紙機(N9)稼働。

・ 2009年11月

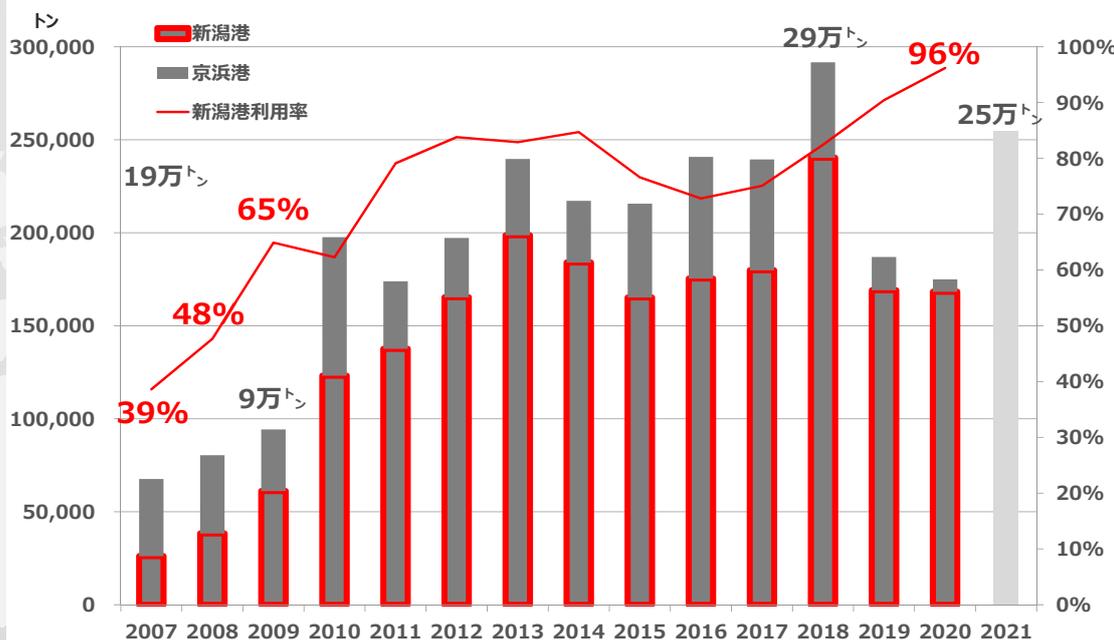
輸出貿易取引条件をCIFに変更。

輸出版売拡大による競争力強化を図る。

7

2.新潟港の利用状況について

②新潟工場の紙製品輸出货量 + 新潟港利用推移



・ 紙製品輸出货量

2009年： 9万トン

↓ 2倍以上
2010年： 19万トン

2018年： **29万トン**
(過去最高)

・ 新潟港利用率

2008年迄： 50%未満

↓ 割合増加
2020年： **96%**

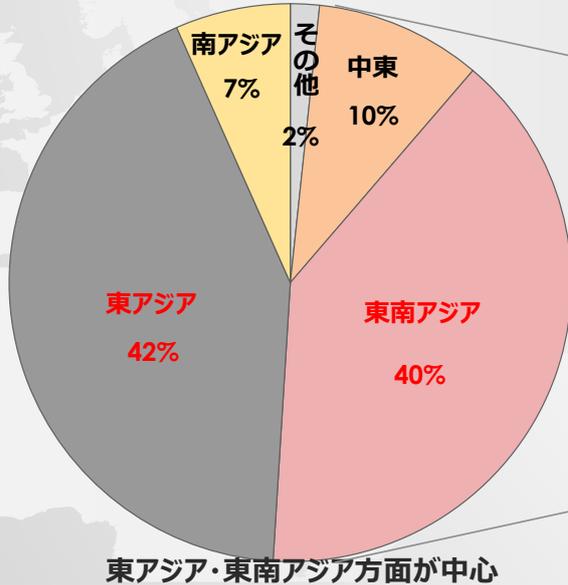
今後も低迷する国内需要をカバーするため、輸出数量を増加させて、生産設備の稼働率を上げていく。⁸

2.新潟港の利用状況について

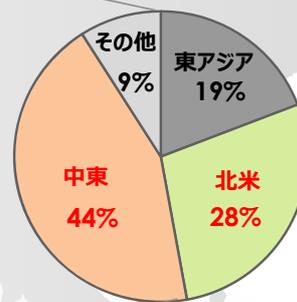
③主な輸出先

2020年(1月～12月)に新潟港・京浜港より輸出した方面別割合

新潟港より輸出(96%)
16万トン



京浜港より輸出(4%)
0.6万トン



・港による方面割合の違い

新潟港：東アジア+東南アジア

→ 約8割

京浜港：中東 + 北米

→ 約7割

港により向け先が大きく異なる。

9

2.新潟港の利用状況について

③主な輸出先

新潟港より輸出した向け先別上位10カ国

2020年(1月～12月)

順位	向け先	比率
1	ベトナム	22.5%
2	台湾	14.1%
3	香港	13.2%
4	中国	12.5%
5	パキスタン	7.4%
6	タイ	6.3%
7	インド	6.2%
8	韓国	6.1%
9	フィリピン	3.9%
10	マレーシア	2.9%

・ 輸出先上位10カ国の内,
4カ国がASEAN諸国

・紙の用途

学校教科書・参考書,
カレンダー等

* ASEAN諸国は、教育関係に使用する紙や段ボール事業の需要増加も見込まれる重要な輸出先

10

3.新潟港を利用するメリット

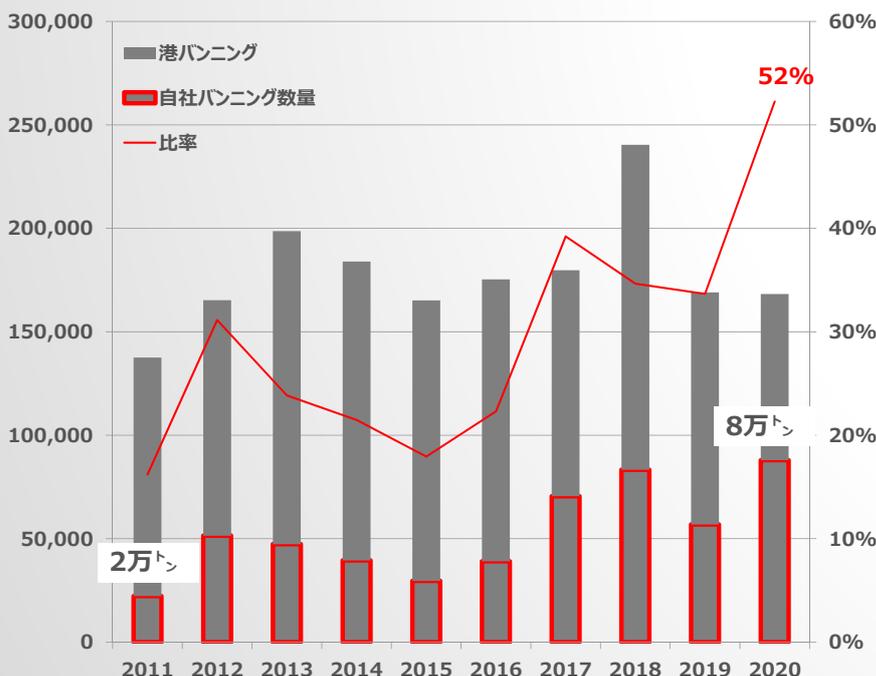


*当社新潟工場にとって重要な港湾

新潟港の利用メリット

- ・ 地理的な面ででの利便性が高い。
- ・ 輸送コストを大幅に抑える事ができる。
→ 対京浜港1/5程度。
- ・ 短距離輸送により京浜港への輸送と比較し環境対応にも配慮。
- ・ ピストン輸送により車両台数を最小限に抑えられる。
→ トラックドライバー不足の一助。

4.自社（工場内）バンニングを活用した取り組み



自社（工場）バンニングの推移

自社バンニングの活用

- ・ 自社(工場内)バンニングは、2011.2より開始。
- ・ バンニングステージの拡張。人員体制の強化。
- ・ 受注する製品形態の見直し
- ・ 2011年：2万t ⇒ 2020年：8万t
→ 約4倍に増加，50%超。

*新潟港の利用を更に増加するため、自社(工場内)バンニング体制を強化し、増量・比率増加に向けて対応中

5.新潟港利用における課題と要望・提案

①当社が抱える課題と改善のための要望

- ・ 冬期間、日本海で発生する時化
→本船の遅延，スケジュールの乱れ.
- ・ 釜山での積替え航路
→航海期間が長く、コスト高.
- ・ 取扱量増加によるコンテナヤードの不足
→コンテナの前搬入が難しいケースの発生.

* 上記については、納期調整，間に合わない場合は京浜港まで陸送し直行便の本船にて対応



【要望】

- ・ **コンテナ前搬入への柔軟な対応.**
- ・ **特定向け先への直行便新航路の検討.**
- ・ **トランシップの場合における納期短縮サービスの検討.**

13

5.新潟港利用における課題と要望・提案

②モーダルシフトを利用した港づくり

- ・ 日本海側のメインポートとしての役割
→新潟県だけではなく、隣県の荷主にとってもより魅力的で利用価値の高い港へ.
- ・ トラック輸送から鉄道輸送へ
→環境配慮への対応，ドライバー不足の解消
コストダウン

【新潟臨海鉄道(2002年廃線)】(右図)

廃線の理由：東港拡張による放水路設置が路線敷にかかること，周辺企業がトラック輸送に切替を進めたこと等.

かつては新潟港(東港)から南東に貨物専用鉄道線(赤線部)が、黒山駅(白新線)まで敷設され利用されていた.



6.新潟港利用のまとめ



・新潟港：国際拠点港湾のひとつ
➔ **日本海側最大の港湾**

＊弊社輸入品

品目	主な輸入先国
チップ	チリ, 南アフリカ, ベトナム, 他
パルプ	ロシア, 他
薬品等	タイ, アメリカ, カナダ, 他

＊弊社輸出品

品目	主な輸出先国
紙製品	ベトナム, 香港, 台湾, 他
パルプ	中国, 他

＊新潟港利用の拡大は、新潟県・新潟市・地元企業が魅力ある港づくりを構築し、日本海側のメインポートとしての役割を果たしていく必要がある。

15

7.当社の今後の取り組みについて

・家庭紙分野への取り組み

2023年12月～トイレットペーパー・ティッシュ・ペーパータオルの生産・販売開始を計画

- ・印刷情報用紙の内需は減少傾向 ➔ **新たな分野への取り組み**
家庭紙分野
- ・生活必需品, コロナ禍での衛生意識の高まり ➔ **底堅い内需の推移**
- ・家庭紙製造工場の生産量 ➔ 約7割：静岡県、四国地方に集中
新潟県及び隣接5県は生産量が少ない
(山形県、福岡県、群馬県、富山県)
- ・新潟県内及び隣接県への販売, 大消費地圏である関東圏への販売を計画
➔ **新潟の立地条件を活かす**

16

7.当社の今後の取り組みについて

・環境に関する取り組み

当社グループが将来目指すべき環境ビジョンをより明確化する目的で、「北越グループ ゼロ CO2 2050」を策定（2020年11月）

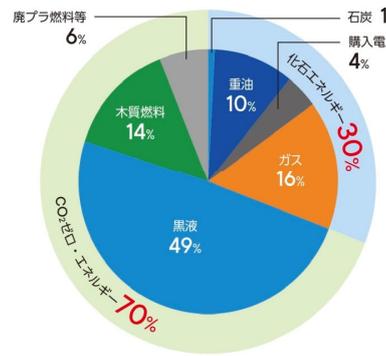
私たち北越グループは、バイオマスなどのCO₂ゼロ・エネルギーを積極的に活用し自然循環型素材である紙をつくっています。

現在では、CO₂ゼロ・エネルギー比率を業界トップレベルの70%まで高めることができました。

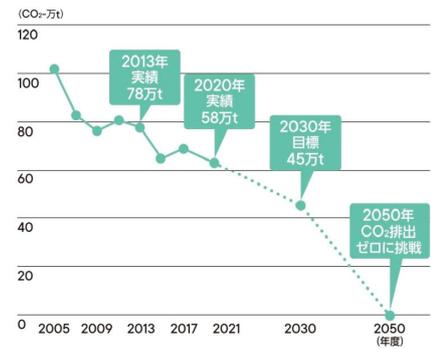
私たちは、人と自然が共生する社会の実現を目指し2050年までにCO₂排出実質ゼロに挑戦します。



当社のエネルギー構成比 (2020年度実績)



当社のCO₂排出量の推移



17

7.当社の今後の取り組みについて



18

